

北海道がん対策推進計画についての意見募集結果

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>がん検診受診率向上の取組について</p> <p>働く世代ががんで亡くなることや罹患により長期に治療が必要になること等は、本人とその家族はもとより、社会経済に与える影響は大きく、また、がん検診の受診率が全国的にみて低い北海道において、職域におけるがん検診の推進は極めて重要と考えます。</p> <p>このことから、企業等において、「①特別休暇の一つとしてのがん検診休暇制度の創設 ②定期健康診断の項目にがん検診の検査項目の追加 ③がん検診を受診する際の費用の一部負担」に積極的に取り組むことができるよう、次期計画へ記載いただくよう、要望します。</p>	<p>ご意見を踏まえ、計画案に反映してまいります。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
<p>がん教育について</p> <p>個別目標が記載されているが、具体的に小学生、中学生、高校生はどのようなことをやるのかわかりやすく記載した方がよいのではないか。</p>	<p>がん教育については、道教委とも協議の上、今回の計画から「学習指導要領」に基づき、小学生、中学生、高校生と、児童生徒の発達段階に応じた施策を推進することを計画上、今回新たに明記したところです。</p> <p>個別目標については、医師やがん経験者などの外部講師等を活用した取り組みについて記載しているところです。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>全体目標について</p> <p>今回新たに、年齢調整罹患率について記載があるが、検診受診率が向上した場合、一時的に罹患率が上昇するため、その点は注意書きが必要ではないか？</p>	<p>ご意見を踏まえ、計画案に反映してまいります。</p> <p style="text-align: right;">A</p>
<p>がん検診等について</p> <p>私の夫は、毎年、がん検診や特定健診を受診していたが、膵臓がんのステージ4、余命3ヶ月と診断された。こういったこともあることを念頭に、検診の受診だけではなく、検診の精度も上げてほしい。また、日頃からの食事や運動、睡眠も重要と考えている。</p>	<p>がん検診の精度管理等につきましては、素案に記載のとおり、検診の精度の向上が図られるための施策を推進して参ります。</p> <p>また、生活習慣の改善の施策も推進して参ります。</p> <p style="text-align: right;">B</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>全体目標について</p> <p>(1) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実</p> <p>(2) 患者本位で持続可能ながん医療の提供</p> <p>(3) がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築</p> <p>となっているが、これは、それぞれ「がん予防」分野、「がん医療」分野、「がんと共生」分野の目標であって、全体目標は、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての道民とがんの克服を目指す」であると考える。</p>	<p>「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての道民とがんの克服」を目指すことについては、本計画を推進するにあたっての基本方針と位置づけております。</p>
<p>食生活や身体活動量等に関する指標がない野菜・果物・食塩の1日当たりの平均摂取量や適正体重を維持している人の割合、日常生活における1日当たりの平均歩数、日常生活における1日あたりの平均歩数が6,000歩未満の者の割合が必要ではないか</p>	<p>本計画の策定及び推進については「北海道健康増進計画」と調和を図ることとしており、食生活や身体活動の指標等については、「北海道健康増進計画」における指標等を参考に推進してまいります。</p>
<p>感染症に起因するがんの予防に関する指標もない</p> <p>肝がんの年齢調整罹患率、HPVワクチンの定期接種に係る接種者数及び実施率、HPVワクチンのキャッチアップ接種に係る接種者数が必要</p>	<p>感染症に起因するがんの予防に関する指標等につきましては、各年の実施状況を整理し、毎年度の推進状況報告の際に報告を検討してまいります。</p>
<p>がんの2次予防の施策の方向に、がん検診受診に関する普及啓発の推進が必要で、各がんの検診受診率や罹患率等を分析しライフステージに応じた重点的な啓発や検診には受診対象年齢があること、受診による利益及び不利益があること、科学的根拠に基づく検診の重要性など、道民ががん検診について正しく理解し適切に受診できるよう啓発を進める必要がある</p>	<p>がん検診受診に関する普及啓発については、市町村や関係機関と連携し、適切ながん検診の受診が図れるよう適切に対応してまいります。</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>がん医療提供の充実が大切で、患者が道内のどこに住んでいても適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制の確保、拠点病院等の間での役割分担の整理と連携により持続可能ながん医療の提供ができること、拠点病院等と地域の医療・介護関係者の連携体制の構築や人材育成の取組により療養生活の質を向上させることを目指してほしい。</p>	<p>がん医療提供体制の充実については、北海道がん診療連携協議会をはじめとした関係機関の皆様と連携し、適切に対応してまいります。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; width: 40px; float: right; margin-top: 10px;">C</div>
<p>緩和ケアに関する普及啓発は、道民に向けては終末期だけではなく診断時から緩和ケアが受けられ自分らしい生活を続けるための支援体制があることを理解できること、患者・家族向けには主治医・看護師・がん相談支援センターの相談員等にあらゆる苦痛・つらさについても相談ができること、がん診療に携わる全医療従事者には患者・家族へ緩和ケアや受けられる支援について適切な情報提供ができるよう、取り組んでほしい。</p> <p>グリーフケアに関しては、研修会の内容に盛り込みホームページで状況を公表するだけでなく、現に困っている遺族に対し今ある医療機関や支援団体のグリーフケアも公表してほしい。</p>	<p>緩和ケアに関する普及啓発やグリーフケアについては、北海道がん診療連携協議会をはじめとした関係機関の皆様と連携し、適切に対応してまいります。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; width: 40px; float: right; margin-top: 10px;">C</div>
<p>小児・AYA 世代がん患者の長期フォローアップの推進の視点が抜けている。提供体制の検討、各医療機関における長期フォローアップの対応可否を把握し対応可能な医療機関について情報発信を行うとともに、がん相談支援センターでも案内できる体制を整えてほしい。</p> <p>定期健康診断を通じて晩期合併症の可能性を疑うことができるようにするなど、小児・AYA 世代のがん経験者自らが行動できる仕組みについても検討の必要があると思う。</p>	<p>小児・AYA 世代がん患者さんへの情報発信等については、北海道小児がん医療提供体制協議会や関係機関の皆様と連携し、適切に対応してまいります。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; width: 40px; float: right; margin-top: 10px;">C</div>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>がん治療が妊孕性に与える影響に関する説明と、生殖機能温存療法及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供や意思決定の支援が個々の患者の状態に応じて適切に行われるよう、人材育成も必要である</p>	<p>道では、これまでも企業等と連携し、医療従事者を対象とした妊孕性温存療法についての勉強会を開催してきたところですが、今後とも引き続き、実施してまいります。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>高齢のがん患者がそれぞれの状況に応じた適切ながん医療を受けられるよう、医療・介護の関係者の連携に基づく医療提供体制の整備が必要であり、また、高齢のがん患者が適切な意思決定に基づき治療等を受けられるよう、患者やその家族等の意思決定支援に係る取組を推進する必要がある。</p>	<p>高齢のがん患者がそれぞれの状況に応じた適切ながん医療を受けられるよう、北海道がん診療連携協議会と連携し、適切に対応してまいります。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>患者・家族がそれぞれのニーズに見合った支援にアクセスできる体制を整え、不安や悩みの軽減、解消ができるよう、外来初診時から治療開始までを目途にがん相談支援センターの存在及び場所、相談できる内容を患者や家族に案内し、相談を希望する患者や家族ががん相談支援センターを訪問することができ、利用しやすい環境を整備するとともに、院内でのがん相談支援センターの認知度向上や意識醸成を進める必要がある。</p> <p>ピア・サポーターについては、養成に取り組むと同時に、養成したピア・サポーターの情報を分かりやすい形で拠点病院等に対して情報提供し、質の担保と活動機会の提供の実現を図る必要がある。</p>	<p>がん相談支援センターの職員の体制づくりや日常的な周知等については、これまでも北海道がん診療連携協議会において協議しているところですが、引き続き、よりよい体制の整備に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>治療・療養生活の質の向上を図るため、患者・家族にとって必要・有益となる情報を適時、的確に発信し、患者・家族が適切かつ十分な情報を得ることを可能とする必要がある。効果的な情報発信と患者にとっての利便性の向上のため、伝えたいメッセージとターゲットを明確化し、患者・家族向けの情報を、がんと診断されてから患者が経験する過程に沿った形で発信できるよう情報発信の見直しが必要であるまた、科学的根拠に乏しい情報が多く存在していることについて注意喚起を行う必要がある。</p>	<p>がん患者さんやご家族への情報提供については、北海道サポートハンドブックや道のホームページ等を活用するなどして、適切に対応してまいります。</p> <p style="text-align: right;">C</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>がん相談支援センターの質の向上に関し、昼間に相談時間を確保できない患者、日本語を母国語としない人、LGBTQ の患者など、様々な背景を有する患者・家族にも適切に対応する必要がある。</p>	<p>がん相談支援センターの質の向上については、北海道がん診療連携協議会と連携し、適切に対応してまいります。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; width: 40px; float: right; margin-top: 10px;">C</div>
<p>診断直後の退職防止とともに、がん患者・がん経験者が、就職活動を行うに当たっての必要な知識等を身に付け、不安なく就職活動に臨むことができるようにする新規就労・再就職に向けた支援や職場との意思疎通の支援も必要である。</p>	<p>働く世代の就労支援については、北海道地域両立支援チーム協議会や北海道がん診療連携協議会等連携し、適切に対応してまいります。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; width: 40px; float: right; margin-top: 10px;">C</div>
<p>がん患者の自殺防止については、院内外の関係者で連携してがん患者の自殺リスクに対応するための体制を作り、がん相談支援センターは相談支援・情報提供を推進し、がん患者の自殺リスクの減少に繋げる。</p>	<p>がん患者の自殺防止については、関係機関と連携し、適切に対応してまいります。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; width: 40px; float: right; margin-top: 10px;">C</div>
<p>タバコは嗜好品ですので、個人の嗜好を強制するのは良くないかと思えます。販売が認められているので、タバコだからといって無くなっても良いのだという考え方ではなく、個人の判断にまかせるべきかと思えます。</p>	<p>今回の道の計画素案では、禁煙を希望する方への支援や、望まない受動喫煙をゼロとする取組を推進することとしております。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; width: 40px; float: right; margin-top: 10px;">C</div>

(子ども アンケート方式の意見)

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>がんで亡くなる人を減らすには、がん検診をうけて、がんを早く見つけて治療することやがんにならないための取組（たばこ対策など）、がんについての正しい知識を学校などで広めたりすることが重要と思う (子ども 83人)</p>	<p>がん検診の受診促進を始め、がんにならない取組や正しい知識を広める取組を進めて行きます。  B</p>
<p>たばこを吸わない人が、家庭や飲食店でたばこを吸っている人の出すけむりを吸うことがないように取り組みを進める必要がある。 (子ども 82人)</p>	<p>たばこをすわない人がたばこを吸っている人のけむりを吸うことがないように取組を進めて行きます。  B</p>
<p>多くの人にがん検診を定期的にうけてもらうためには、がん検診の大事さを学校の授業やポスターなどで伝えたり、検診を受けていない人に声かけを行うことが重要と思う。 (子ども 79人)</p>	<p>がん検診の重要性について、学校の授業やポスターなどで情報提供を行い、検診を受けていない人への取組などを進めていきます。  B</p>
<p>がんになっても、安心して暮らせる社会づくりのため、すべての道民ががんについての理解を深めることが必要と思う。 (子ども 86人)</p>	<p>全ての道民ががんについての理解を深める取組を推進していきます。  B</p>
<p>がんになった人への理解や健康と命の大切さに対する認識を深めるため、学校でがんに関する授業を行うことが必要だと思う。 (子ども 80人)</p>	<p>児童生徒の発達段階に応じたがん教育を進めていきます。  B</p>
<p>がんの授業について、学校の先生ほかに、がんになった人や専門の医師などによる授業を受けたいと思う。 (子ども 67人)</p>	<p>外部講師等を活用したがん教育の取組を進めていきます。  B</p>
<p>胃がんや肺がんなどのがんの種類別に説明する動画を作成した場合、見てみたいと思う。 (子ども 64人)</p>	<p>動画の活用など分かりやすいがんに関する知識の普及啓発を進めていきます。  B</p>

(子ども アンケート 自由記載欄の意見)

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>ガン検診が、もっと安く手軽に受けられるようになれば良いと思う。定期的に必ず受けなければいけないルールがあれば良いと思う。</p>	<p>市町村においては、特定健診との同時実施や検診の自己負担に対する助成など受診しやすい環境整備が行われており、道においても、がん検診の受診率向上のため、早期発見の大切さなどに関する普及啓発等を行っており、次期計画においても、引き続き、こうした取組を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>もっと色々な人が病院に行きやすい環境を作っていくことが大切だと思う。</p>	<p>早期発見・早期治療に繋がるようがん検診の受診率向上などの取組を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>たばこを吸う人が嫌いです。 匂いもひどいし、たばこなんて無ければいいのと思います。 親が吸っていると子供もいい物だと思って将来的に吸うことはあると思います。 だから、こどものうちにたばこはだめなものだとしてしっかり意識させることが大事だと思います。でも、このアンケートを作っている大人たちも吸っている人、いるんでしょうね。 こども</p>	<p>たばこによる健康への影響等のがんの予防などのがんに対する正しい知識等については、学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じたがん教育が実施されており、引き続き、がん教育の充実に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>がんのことをもっと知れる授業を受けてみたいです！</p>	<p>児童生徒の発達段階に応じたがん教育が学習指導要領に基づき実施されており、引き続き、がん教育の充実に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">B</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>・がんと診断された時と相談窓口などの授業があると良いと思う</p>	<p>児童生徒の発達段階に応じたがん教育が学習指導要領に基づき実施されており、引き続き、がん教育の充実に取り組みます。 また、診断時から患者等の相談ニーズに必要な対応の周知など相談支援体制の充実に取り組みます。</p>
<p>最近歩きタバコしている人が多い。マナー悪いし煙もかかるし気分が悪くなる。</p>	<p>受動喫煙の防止については、受動喫煙ゼロを目指し、取組を進めてまいります。</p>
<p>がんの可能性があるときの行動などのチェック項目を作って、毎年道民にスマホで送れば良いと思います。スマホなどのインターネットを使っていない人には、毎年家に訪問したり、電話をかけたりすると、その人の健康状態もわかるので良いと思います。</p>	<p>がんの予防や早期発見など、がんに関する知識の道民への普及啓発の取組を進めてまいります。</p>
<p>・人間ドッグで強制的に検査する</p>	<p>市町村や職域で実施するがん検診の受診率向上に向けた取組を引き続き進めてまいります。</p>



意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>タバコの値段を1ケース10万円くらいにしてその値段の9割を北海道のお金にすればいいと思う。</p>	<p>受動喫煙の防止については、受動喫煙ゼロを目指し、取組を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">D</p>
<p>テレビなどで、がんけんしんの大切さをつたえて下さい。</p>	<p>がん検診の受診促進については、がん検診の必要性について理解を深めていただくことが重要であり、引き続き受診率向上に向け、広報媒体等を活用し、普及啓発を推進してまいります。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>健康のためや、SDGsのために、給食を残したりしないことが、小さな一歩になるのではないかな、と思います。今は、食品ロスなども大きな問題とされているので、こういうところから取り組んでいけたらいいなあと思います。</p>	<p>がんの予防には健康的な生活習慣が大切であり、食事の量やバランス適度な運動による適切な体重の維持など健康教育を推進してまいります。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>タバコを売るのを辞めて、がん検診などは義務化すればいいと思う。</p>	<p>受動喫煙の防止については、受動喫煙ゼロを目指し、取組を進めてまいります。</p> <p>また、がん検診受診率向上に向けた取組を引き続き進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">D</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>がんの検診は1年に一回ぐらいしたほうがいいので義務とは言わなくても、強く呼びかけることが大事である。時間やお金に余裕がない人でも検診がやりやすくなればいい。</p>	<p>道では、がん検診の受診率向上のため、早期発見の大切さなどに関する普及啓発を行っているほか、がん検診と特定健診の同時実施や休日や早朝の実施など、住民の方々が受診しやすい検診機会の確保に向けて、市町村への働きかけを行ってきており、次期計画においても、引き続き、こうした取組を進めてまいります。</p>
<p>お菓子などに入っている発ガン性物質の多いものに注意書きを書いたりしてできるだけ食べないように呼びかけたらいいと思います。</p>	<p>がんに対する正しい知識等については、学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じたがん教育が実施されており、引き続き、がん教育の充実に取り組みます。</p>
<p>“がんについてどういうことを気をつけなくてはいけないのかやどんな危険性がかかるのかなどのがんになることはどういうことなのかの理解を強めたら良いと思う”</p>	<p>学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じたがん教育が実施されており、引き続き、がん教育の充実に取り組みます。</p>
<p>給食を無農薬野菜にしてほしいです！農薬でがんになるからです！</p>	<p>がんに対する正しい知識等については、学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じたがん教育が実施されており、引き続き、がん教育の充実に取り組みます。</p>

意見の概要	意見に対する道の考え方※
<p>”(4)ががん検診を受けた人に何か特典を渡す PayPay ポイントなど。”</p>	<p>無料クーポンの配布等がん検診の受診率向上に繋がった好事例については、市町村と情報共有するなど検診受診率向上に向けた取組を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>” 病院を増やすのはどうでしょうか又治療費を下げることで貧困層の方々にも気軽に治療をできるようにしたらどうでしょうか 仮にがんの人が1人でしたと言ってもみんな気にしないと思うんですね しかし がんが身近なものだと僕たち小学生にたくさん教え下さい そしたら、みんな気にするようになると思います というか まず インフルとコロナを撲滅してからがん対策をお願いします”</p>	<p>道では、道民がどこに住んでいても安心してがん診療を受けられるようがん医療提供体制の充実に努めているところです。また、がん教育については、学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じて実施されており、引き続き、がん教育の充実に取り組めます。</p> <p style="text-align: right;">D</p>
<p>がんについての本を作ってみる</p>	<p>がんに関する知識の普及啓発については、関係団体と連携し、啓発資材の配布や各種イベントの開催など、引き続き、取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">C</p>
<p>がんについては小学生の頃から説明をするのはいい事だと思います。けれど小さい頃に言われたことは大きくなると忘れてしまうので定期的に説明会などをするのがいいと思います。それと受動喫煙については家族に喫煙者がいる場合はどうしても避けることが難しいのでそういう危険性を喫煙者には特に知っておいて欲しいです。</p>	<p>学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じたがん教育が実施されており、引き続き、がん教育の充実に取り組めます。</p> <p>受動喫煙の防止については、受動喫煙ゼロを目指し、取組を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">B</p>
<p>がん検診は、大切だと思いますが受ける人は仕事が忙しくて行けない人や家族に心配をかけたくなく受けない人もいます。 なので、まず初めに一人一人の不満をなくすことが大切だと思います。</p>	<p>道では、がん検診の受診率向上のため、がん検診と特定健診の同時実施や休日や早朝の実施など、住民の方々が受診しやすい検診機会の確保に向けて、市町村への働きかけを行ってきており、次期計画においても、引き続き、こうした取組を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">C</p>

※「意見に対する道の考え方」のA～Eの区分は次のとおりです。

A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等